

# 公明党館山支部会報 瀬能 孝夫

## ◆ 議員活動報告 ◆

過去2年間の議会質問を通して、施策に取り入れられた項目は4点です。オリジナル出生届け、指定ゴミ袋の30リットル用の導入、主に認知症徘徊者を対象とした発信器を活用する行方不明対策で、こちらは研究段階です。

昨年9月議会では障がい者への公費助成について取上げ、市長自ら来年度予算に計上すると姿勢を示されました。具体的には、重度難聴者が利用する人工内耳装用者の対外装置の買い



新年の街頭演説をする瀬能議員と龍崎議員

替えや修理、電池交換等について助成をしてみました。10年ほどで買い替えなければならず、保険がきかない上に100万円ほどかかりますが、取り付け時の手術後はすべて自己負担です。

また、がんなどによって喉頭摘出した方が声を出すために必要な「埋込用人工鼻」についても2、3日で交換する消耗品であり、その交換にも保険が適用されず月に2、3万円もかかるため、その費用を助成できないか質問しました。ともに自己負担軽減への支援を約束されました。その際執行部からは、質問を通して障がい者のおかれている実態が分かったと感謝もされました。

さらに、市職員採用試験における障がい者への欠格条項について「自力通勤ができる者」としてある条件を、障害と能力は別のものであり撤廃するように求めたところ、見直すとの見解を示されました。

具体的な施策には反映されななくても、思い入れの強い質問もあります。南房総地域における外来生物への対応やイノシシの捕獲作業における狩猟者への負担軽減対策、併せてジビエ流通のための解体処理施設の建設、館山港多目的観光棧橋の活用な

どです。特に棧橋については、現行のマイナス7.5メートル岸壁からマイナス9メートルまで深くして、大型客船の誘致を図るよう訴えました。今後も、地域の発展と住民福祉の充実へ向け努力してまいります。

議会活動では、議会改革に取り組んでいます。市民の皆様の声の議会として広く受け止め、施策に反映できる体制づくりに努力しているところです。議会改革特別委員会委員長として重責を担い3年が過ぎようとしています。議員間の改革意識の開きもあり、その道においては険しい現実もあります。が「市民に開かれた議会」を目指し、着実に前進させたいと決意しております。

平成27年4月に議会改革の一環として議会基本条例を制定、その10条の規定に基づき、年1回の単位で毎年10月に議会報告会を開催しています。今年で4回目の開催を予定しておりますので、党员、支持者の皆様も進んでご参加いただき、市政に対するご意見ご要望等、議会にご助言賜りたいと存じます。

様々な議員・議会活動を通して「住み良いまちづくり、館山に住んで良かった」と言っていただけのように、これからも精進してまいります。

## ◆ 行政一般通告質問 ◆

〈平成28年〉

### 第1回定例会

- 1、南房総地域における外来生物
- 2、オリジナル出生届け
- 3、指定ゴミ袋30リッター導入

### 第2回定例会

- 1、昨年の12月議会に引き続き大規模地震への備え
- 2、若者の政治的関心を高める政策形成

### 第3回定例会

- 1、廃棄されている食品の有効活用
- 2、子育て環境の包括的支援
- 3、ブックスタート事業

### 第4回定例会

- 1、ロタウイルス予防ワクチン接種助成
- 2、広域ごみ処理施設建設計画における本市の離脱
- 3、自治基本条例と館山市政治倫理条例の制定

〈平成29年〉

### 第1回定例会

- 1、イノシシの捕獲作業における狩猟者の負担軽減対策
- 2、主に認知症徘徊者の行方不明対策
- 3、まちの無電柱化の推進

### 第2回定例会

- 1、館山港多目的観光棧橋の活用

### 第3回定例会

- 1、聴覚・視覚障がい者等公費助成施策
- 2、新生児聴覚検査と市職員採用における障がい者への条件緩和

### 第4回定例会

- 1、有害鳥獣対策
- 2、人と動物が共生するまちの創出
- 3、人々の多様性を尊重する社会を目指す取組